

グラスルーツ・アカデミー in 福島 2024

募集要項

オズの魔法使いという物語を知っていますか？
ドロシーという少女が、脳みそが欲しいかかし、勇気が欲しい臆病なライオン、
心が欲しいブリキの木こりとともに旅をする物語です。
彼女らはどこで、どうやって、それらを手に入れたと思いますか？
荷物を分け合ってともに旅し、西の魔女との戦いから逃げずに踏ん張った彼女らは、
知恵・勇気・やさしさを、自分の内に見つけ出していました。

今回のアカデミーのテーマは「Power with パワーウィズ」です。

地域や組織の課題を解決する力がほしい
他の地域で活動している女性たちと繋がりたい
そんな願いを持ち寄り、3日間、仲間とともに学び合い、想像力を發揮させ
自分の中にある軸や周りとのつながり「Power with」に気づいていきます。
それはきっと、あなたの活動の支えとなっていくでしょう。
自分らしい生き方を見つめ、より良い活動につながる一歩を踏み出しませんか？

【日程】 2024年7月19日（金）～7月21日（日） 2泊3日

【場所】 天神岬スポーツ公園 展望の宿 天神
(〒979-0604 福島県双葉郡楢葉町北田上ノ原27-29)
太平洋が一望できるオーシャンビューのお部屋が自慢のお宿です。天神岬温泉にゆっくり
とつかり、日常から離れた時空間のなかで過ごすことができます。
アクセス：<https://naraha-tenjin.net/access>

【内容】 今回のアカデミーは「つながりを取り戻すワーク」というワークを行います。これは、私たち一人ひとりの内的な変容だけでなく、社会全体の変容を可能にする力を養うことを目的とした体験的ワークで、ジョアンナ・メイシーを生みの親としています。
ジョアンナ・メイシーは、仏教・一般システム理論・ディープエコロジーといった分野を深く掘り下げた研究活動をおこない、またそれらを軸に社会活動を続けてきました。これまで多くの人びとが彼女に学び、大きな影響を受けています。平和、正義、環境など多岐にわたる彼女の社会活動の歴史は50年以上におよび、アメリカの社会／環境運動史上もっとも偉大な活動家の一人としてその名が挙げられています。

【参加条件】

- 地域をよりよくするための活動に関わっている、概ね20～30代の女性
- プログラムで学んだことを自らの活動や地域のために還元したいという意思がある方
- インターネットが使用でき、事前登録・終了後アンケート等へ回答していただける方
- 事前資料の提出、当日に活動内容、悩みや経験談を他者のために提供できる方
- 3日間の全プログラムに参加できる方
- SNSやレポートによる広報発信にご協力を頂ける方

【定員】 15名 ※ただし応募者多数の場合は、選考となる場合があります

【応募締め切り】 2024年6月30日（日）24:00

- 【参加費】** 3日間 23,000円（宿泊費、食費、プログラム費、託児費込み）
- ・※「参加応援枠」：経済的に参加が難しいけれど参加を強く希望される方には、参加費が軽減される参加応援枠を数名分ご用意しています。申込時にご記入下さい。
 - ・※交通費は各自ご負担ください。
 - ・※お子さんの宿泊費、食費はご負担をお願いします。
 - ・※託児サービスをご希望の方は申込時にご記入下さい。
 - ・※このプログラムは助成金と寄付によりサポートされています。

【その他】 駐車場あり

【申込方法】 下記リンクから、「応募申請フォーム」のご記入をお願いします。
◆申請フォーム URL <https://x.gd/KLRHy>

- 講師紹介 齊藤由香 (さいとう ゆか)

アクティビスト・翻訳家・通訳・ワークショップ・ファシリテーター。現在は日本 およびアメリカで平和・環境・社会正義運動に積極的に関わるとともに、関連書籍 および映像の日本語翻訳を行う。2011年より米国の仏教学者・環境学者であり アクティビストのジョアンナ・メイシーに師事し、2014年以降彼女が生んだ「つながりを取り戻すワーク」のワークショップを日本で開催。社会や世界の痛みに対する気づきと行動をうながし、新しい世界観や価値観にもとづいたコミュニティ作りを目指している。米国カリフォルニア州バークレーに在住。翻訳書に『カミング・バック・トゥ・ライフ：生命への回帰』(日本能率協会マネジメントセンター)、他。映像翻訳に『ジョアンナ・メイシー&グレート・ターニング』『プラネタリー』『ジャーニー・オブ・ザ・ユニバース』。

自分が何を大切にしていて、何が好きなのかがわかった。他の人が大切にしているものを知ることで、人それぞれちがうけど、どこかつつながっているのだと感じた。

自分は一人ではなく、横をみるとたくさんの仲間がいる。東北だけでなく世界中に、世界をより良くするために行動している仲間がたくさんいるのだという安心感が生まれた

参加者の声

3日間自分を見つめることによって、自分が狭い視点でしか物事を見ていなかったことに気づいた。

分かってるように分かってない自分への気づき。自然の力や自然から頂いているものは何か、地域と自分、そして自分のやっている事業とのつながりを問うようになった。

<グラスルーツ・アカデミー東北とは>

地域で次世代を担う女性のための学びとネットワーキングの場です。宮城・岩手・福島から地域のために活動している人が集まります。お互いの経験をわかちあい、悩みを相談し、新しい発見や学びを持ち帰ります。2015年の第3回国連防災世界会議のプレイベント「国際地域女性アカデミー in Tohoku」を皮切りに、東北の女性のエンパワーメントを目的として、グラスルーツ・アカデミー東北を開催してきました。今回は13回目となり、過去の参加者が運営メンバーとして開催します。

<お問い合わせ先>

Mail womensacademyintohoku@gmail.com / TEL 0226-25-9517

NPO 法人ウィメンズアイ 担当：石本めぐみ、栗林美知子、浅野希梨

<企画・運営> 「グラスルーツ・アカデミー東北 in 福島」有志メンバー

*今回のプログラムは、ロクシタン・ジャポン株式会社からのご寄付により実施しています。